



Polycom® VVX™ 1500 C Business Media Phone for Cisco® Unified Communications Manager (SIP)

クイックユーザガイド

電話機能について
電話機能の使用
基本的な電話機能
電話機能のカスタマイズ

SIP 3.1.3 以降が動作する電話に対応

詳細については、『User Guide for the Polycom VVX 1500 C Business Media Phone for Cisco Unified Communications Manager (SIP)』を参照してください (ドキュメントは以下のアドレスで入手可能)。
http://www.polycom.com/support/voice/business_media_phones/vvx1500c.html

© 2009, Polycom, Inc. All rights reserved.
POLYCOM®, Polycom ロゴ (三角形のデザイン付)、および Polycom 製品に関連する名称および商標は、アメリカ合衆国およびその他の国における Polycom, Inc. の商標かサービス商標、またはその両方です。その他すべての商標は、それぞれの会社が所有しています。Polycom の書面による許可がある場合を除いて、このドキュメントのいかなる部分も個人的使用以外の目的で複製または送信することはその形式および方法を問わず禁止されています。

電話機能について

タッチスクリーン

この電話機には、タッチセンサー式のスクリーンが装備されています。機能へのアクセス、情報の取得、またはフィールドの編集を行うには、タッチスクリーンに表示されているメニュー項目、矢印キー、ソフトキー (タッチスクリーンの一番下に並んでいるキー) およびフィールドをタッチします。

通話とラインキー

この電話機では、アクティブな 1 通話と保留状態にある複数の通話を処理できます。アクティブな通話は、画面の中央に表示されます。保留状態の通話は、画面の一番下の行に表示されます。

この電話機では 6 回線まで使用できます。各回線は、ラインキーに割り当てられます。ラインキーは、画面の一番右端に一行に表示されます。割り当てられていないラインキーは、短縮ダイヤルキーとして使用できます。ラインキーは、緑 (ダイヤルトーン、着信通話、またはアクティブな通話) または青 (アクティブでない通話) で表示されます。タッチスクリーンに表示されている通話は、緑色のラインキーに関連付けられています。

ラインキーには、ステータスインジケータ (ラインキーの右端に表示される垂直バー) を表示することもできます。

ステータスインジケータの表示

- 緑色 - ダイヤルトーンが使用可能、ダイヤル中、または通話がアクティブなことを示します。
- 緑色で点滅 - 着信通話を示します。
- 赤色で点滅 - すべての通話または会議が保留状態にあることを示します。

ビデオ

ビデオは、画面の右上にある PIP (子画面) ウィンドウと画面の中央部に表示される大きなウィンドウの 2 箇所に表示されます。デフォルトでは、こちら側のビデオが PIP に表示され、相手側のビデオが大きなウィンドウに表示されます。

アクティブな通話中に、PIP をタッチすると表示されるビデオを切り替える事ができます。こちら側の画像が大きなウィンドウに表示されている場合には、ウィンドウの横に [ローカルカメラ] と表示されます。

また、大きなウィンドウをタッチして、ビデオをスクリーン全体に表示すること (全画面モード) もできます。全画面モード中に PIP をタッチすると、表示されるビデオを切り替えられます。通常の表示モードに戻すには、全画面モードで表示されているビデオをタッチします。

アイコンについて

	Polycom® HD Voice を使用しないアクティブな通話
	Polycom HD Voice を使用するアクティブな音声通話
	Polycom HD Voice を使用するアクティブなビデオ通話
	通話 (音声のみ)
	通話 (ビデオ)
	保留
	会議通話
	応答不可
	ハンドセット
	ヘッドセット
	ラインキー (プライベートおよび登録済)
	ラインキー (共有および登録済)
	不在着信

	ミュート
	スピーカーホン
	短縮ダイヤルキー
	USB フラッシュドライブ接続済
	ビデオ停止
	ビデオ停止および音声ミュート中






電話機能の使用

タッチスクリーンの操作

- メインメニューに戻るには、 をタッチします。
- 待機画面に戻るには、 をタッチします。
- 直前のメニューに戻るには、[戻る] ソフトキーをタッチします。
- メニュー項目を選択するには、そのメニュー項目をタッチします。
- リスト内のオプションを選択するには、[決定] をタッチします。
- メニュー項目およびリストで 1 画面に入りきれない部分にスクロールするには、 または をタッチします。
- "次ページ" または "前ページ" を表示するには、 または をタッチします。
- ソフトキーを選択するには、そのソフトキーをタッチします。
- 現在表示されていないソフトキーを表示するには、[その他] ソフトキーをタッチします。
- フィールドを選択するには、そのフィールドをタッチします。
- フィールドの入力ボックスを選択するには、フィールド名をタッチしてから、そのフィールドのハイライト表示されているボックスをタッチします。

データの入力と更新

データを入力するには、次の操作を行います：

- 編集するフィールド、画面タイトルの横にある  を順にタッチします。
- 画面上の "キーボード" を使用して、次のいずれかの操作または複数の操作を行います。
 - 番号のみを入力する場合は、画面上のキーボードにある番号をタッチします。
 - 文字と番号の組み合わせを入力できる場合は、[abc]、[ABC]、[123]、または [Abc] ソフトキーをタッチして、小文字、大文字、数字、および単語の先頭を大文字にするモードから目的のモードに切り替え、画面上のキーボードで文字または数字をタッチします。
 - 特殊文字を入力するには、.&123 をタッチして特殊文字キーボードを表示し、画面上のキーボードで目的の特殊文字をタッチします。英字モードに戻るには、 をタッチします。
 - 特殊な言語でテキストを入力するには、[ラテン]、[カタカナ]、[Unicode]、[キリル言語] または [ASCII] ソフトキーをタッチして異なる言語に切り替え、画面上のキーボードで目的の文字をタッチします。
 - 入力したデータを削除するには、矢印キーを使用してカーソルを削除する文字または番号の右側に配置し、 をタッチします。
-  をタッチします。

フィールドを有効または無効にするには、次のようにフィールドオプションを選択します：

>> フィールド名をタッチして、そのフィールドでハイライトされているボックスをタッチします。ドロップダウンリストで、目的のオプションをタッチします。

基本的な電話機能

通話の発信


ハンドセットを使用している場合：

>> ハンドセットを取り、画面をタッチするか、キーパッドを使用して電話番号を入力します。

スピーカホンを使用している場合：

>> ハンドセットを置いたままで、[通話] ソフトキーまたはラインキーをタッチし、画面をタッチするか、キーパッドを使用して電話番号を入力します。

オプションのヘッドセットを使用している場合：

>> ヘッドセットが接続された状態で、 を押し、画面をタッチするか、キーパッドを使用して電話番号を入力します。

(自動的にダイヤルされない場合は、[送信] ソフトキーをタッチします。)

通話の応答


ハンドセットを使用している場合：

>> 受話器を取ります。

スピーカホンを使用している場合：

>> [応答] ソフトキーまたはステータスインジケータが緑色に点滅しているラインキーをタッチします。

オプションのヘッドセットを使用している場合：

>>  を押します。

通話中に別の着信通話に応答

アクティブな通話中に通話が着信した場合は、通話中着信を告げるビーブ音が鳴り (デフォルト)、着信通話が表示されます。着信した通話に応答するには、[応答] ソフトキーをタッチします。元の通話は保留されます。

通話の終了

通話を終了するには、[終了] ソフトキーをタッチします。

ビデオの使用

プライバシーシャッターの調整機能 (上辺の中央部、カメラの上) を使用して、プライバシーシャッター (タッチスクリーン上部の中央) が開いていることを確認します。カメラの後ろにあるカメラの鏡筒を上下に調整することもできます。


ビデオ通話中に [ビデオ] ソフトキーをタッチすると次の操作ができます。

- ビデオ転送を開始または停止するには、[ビデオの開始] または [ビデオの停止] ソフトキーをタッチします。
 - 大きなウィンドウに表示されているビデオを全画面表示するには、[全画面] ソフトキーをタッチします。通常の見モードに戻すには、全画面モードで表示されているビデオをタッチします。
 - 相手側の大きな画面に表示されたビデオ画像とこちら側の PIP 画面に表示されたビデオ画像を切り替えるか、こちら側の大きな画面に表示されたビデオ画像と相手側の PIP 画面に表示されたビデオ画像を切り替えるには、[スワップ] ソフトキーをタッチします。
 - ビデオのオプションを終了するには、[戻る] ソフトキーをタッチします。
- 音声のみの通話時には、ビデオのソフトキーは使用できません。

ビデオの無効化


すべての通話の開始時にビデオを自動転送する機能を無効にできます (この機能を無効に設定しても、通話ごとに画像送信を選択する機能は使用できます。「ビデオの使用」を参照してください)。

すべての通話の開始時にビデオ機能を無効にするには、次の操作を行います：


-  > [設定] > [基本設定] > [ビデオ] > [ビデオ通話設定] の順にタッチします。
- ハイライトされているボックスで [ビデオ送信自動開始] フィールドをタッチします。

- ドロップダウンリストで [無効] をタッチします。
- [保存] ソフトキーをタッチします。

マイクのミュート

通話中に  を押します。[ミュート] ボタンが赤く光ります。

ミュート機能が有効な間は、相手側の参加者の音声は聞こえますが、こちら側の音声は相手側には聞こえません。

ミュートをオフにするには、 をもう一度押します。赤い LED が消灯します。

通話の保留と再開



通話を保留するには、次の操作を行います：

>> [保留] ソフトキーをタッチします。

保留中の通話を再開するには、次の操作を行います：

>> [再開] ソフトキーをタッチします。

(複数の通話を保留している場合は、再開する保留中の通話をタッチして選択してから [再開] ソフトキーをタッチします。4 通話以上の通話を保留中の場合は、

 または  を使用して再開する保留中の通話を選択します。)

複数のラインキーがある場合、最初の保留中の通話を、別のラインキーをタッチしてそのラインキー上で再開できます。

通話の転送

通話中の転送を行うには、次の操作を行います：

- 通話中に [転送] ソフトキーをタッチします。現在の通話は保留状態になります。
- 通話を転送する参加者に通話を発信します。
- 2 番目の参加者が応答した後に、[転送] ソフトキーをタッチします。

通話の着信転送

(社内の設定により、この機能は無効になる場合があります。共有ラインを使用している場合、通話の転送はできません。)

通話の着信転送をオンにするには、次の手順に従います：

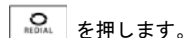
1. 待機画面で、[転送] ソフトキーをタッチします。
2. 複数の回線を使用している電話の場合は、通話の転送機能を有効にするラインをタッチします。
3. 有効にする転送のタイプを選択します(すべての着信通話を転送するには [常時] を、すべての不応答着信通話を転送するには [無応答] を、通話中に着信した通話を転送するには [取り込み中] をそれぞれ選択します)。
4. 転送先の番号を入力します。
5. [有効] ソフトキーをタッチします。

通話の着信転送をオフにするには、次の手順に従います：

1. 待機画面で、[転送] ソフトキーをタッチします。
2. 複数の回線を使用している電話の場合は、通話の転送機能を無効にするラインを選択します。
3. 無効にする転送のタイプをタッチします。
4. [無効] ソフトキーをタッチします。

リダイヤル

最後にダイヤルした番号にかけるには、




を押します。


連絡先への短縮ダイヤル

連絡先にすばやく発信するには、その連絡先の短縮ダイヤルのインデックス番号を使用するか、その連絡先の短縮ダイヤルキーを押します。

短縮ダイヤルキーを使用するには、次の操作を行います：

- >> 画面の一番右端にある連絡先の短縮ダイヤルキーをタッチします (短縮ダイヤルキーには、 と連絡先の名前が表示されています)。

短縮ダイヤルのインデックス番号を使用するには、次の操作を行います：

1. 電話機の  ボタンを押します。
2. 短縮ダイヤル情報が表示されている画面で目的の連絡先をタッチします。通話が自動的に発信されます。


短縮ダイヤルのインデックス番号を追加または編集するには、連絡先リストの [短縮ダイヤルインデックス] フィールドを更新します (「連絡先リストの更新」を参照)。ラインキーが使用できる場合は、追加した連絡先が短縮ダイヤルキーとして表示されます。

応答拒否の使用

(社内の設定により、この機能は無効になる場合があります。)

電話を鳴らないように設定できます。

応答拒否機能を有効または無効にするには、次の操作を行います：

1.  を押します。
2. 複数の回線を使用している電話の場合は、応答拒否機能を有効にするラインをタッチします。
3. [有効] ソフトキーまたは [無効] ソフトキーをタッチします。

応答拒否機能を有効にすると、[DND] ボタンが赤く光ります。

会議通話の設定

自分以外の 2 人の参加者がいる会議通話を開催できます。

会議通話中のビデオ画像は 1 参加者のみと送受信できます。必要に応じて、ビデオ画像を交換する参加者を切り替えられます (「会議通話の管理」参照)。

会議通話をセットアップするには、次の手順に従います：

1. 最初の参加者に通話を発信します。
2. 最初の参加者が応答した後、[会議] ソフトキーをタッチします。現在の通話は保留状態になります。
3. 2 番目の参加者に通話を発信します。

4. 2 番目の参加者が応答したら、[会議] ソフトキーをタッチします。これで、すべての参加者が会議に参加します。

次のいずれかの操作が可能です：

- 会議を保留にするには、[保留] ソフトキーをタッチします。通話を再開するには、[再開] ソフトキーをタッチします。
- 自分以外の参加者が会議に参加したままの状態自分で会議を終了するには、[終了] ソフトキーをタッチします。
- 会議を終了し、すべての参加者を保留にするには、[回線の切り離し] ソフトキーをタッチします。
- こちら側のビデオ画像の送信を開始または停止するには、[ビデオ] ソフトキー、[ビデオの停止] ソフトキーをタッチします (相手側のビデオ画像の受信は停止されません)。こちら側の画像の送信を再開するには、[ビデオの開始] ソフトキーをタッチします。

アクティブな通話と保留中の通話がある場合、[会議に参加] ソフトキーをタッチするとこの 3 者間で会議を開催できます。

会議通話の管理

(この機能が有効でない電話機もあります。)

この機能が有効になっている電話機を使用している場合、会議通話の各参加者を管理できます。

会議参加者を管理するには、次の操作を行います：

- >> 会議通話中に [管理] ソフトキーをタッチします。管理する対象の参加者が選択されていない場合は、その参加者をタッチします (選択されている参加者には白い境界線が周囲に表示されます)。

次のいずれかの操作が可能です：

- 選択されている参加者をミュート状態にするには、[相手側のミュート] ソフトキーをタッチします。ミュート状態の参加者には他のすべての参加者の音声は聞こえませんが、他の参加者にはミュート状態の参加者の音声は聞こえません。
- 選択されている参加者を "アクティブな" 会議参加者 (ビデオ画像を交換できる参

加者) にするには、[ビデオの選択] ソフトキーをタッチします。

- 選択されている参加者を保留にするには、[保留] ソフトキーをタッチします。保留になっている参加者には他の参加者の音声は聞こえません。また、他の参加者にも保留になっている参加者の音声は聞こえません。参加者を通話に戻すには、[再開] ソフトキーをタッチします。
- 選択されている参加者を通話から削除するには、[削除] ソフトキーをタッチします。
- 選択されている参加者についての情報を表示するには、[情報] ソフトキーをタッチします。
- 会議の管理機能を終了するには、[戻る] ソフトキーをタッチします。

ボイス / ビデオメールの再生


(ボイス / ビデオメールは、通話のプラットフォームに依存する機能であるため、オプションが異なる場合があります。)



を押し、プロンプトに従ってメッセージを再生します。

通話履歴の使用


通話履歴を使用するには、次の操作を行います：

1.  > [機能] > [通話履歴] > [不在着信]、[受信履歴]、または [発信履歴] を順にタッチします。
2. 通話をタッチすると、その通話に関する情報が表示されます。次のいずれかの操作が可能です。
 - 通話を発信するには、[呼出] ソフトキーをタッチします。
 - ダイヤルする前に番号を変更するには、[編集] ソフトキーをタッチします。
 - 履歴から通話を削除するには、[戻る] ソフトキー、[消去] ソフトキーを順にタッチします。
 - 連絡先を連絡先リストに保存するには、[戻る] ソフトキー、[保存] ソフトキーを順にタッチします。


電話機能のカスタマイズ

連絡先リストの更新

連絡先を追加または編集するには、次の操作を行います：



1.  > [機能] > [連絡先リスト] をタッチします。
2. 連絡先を追加するには、[追加] ソフトキーをタッチします。連絡先を編集するには、編集する連絡先をタッチしてから、[編集] ソフトキーをタッチします。
3. フィールドをタッチした後、情報を追加または編集します。[連絡先] フィールド (電話番号) は必須です。
4. [保存] ソフトキーをタッチします。

連絡先を検索するには、次の操作を行います：



1.  > [機能] > [連絡先リスト] をタッチします。
2. [検索] ソフトキーをタッチしてから、検索する連絡先の名前または姓の最初の数字を入力します。
3. [検索] ソフトキーをタッチします。

音量の調整

ハンドセット、スピーカホン、ヘッドセットの音量を変更するには、次の操作を行います：

>> 通話中に  または  を押します。


着信音の音量を調整するには、次の操作を行います：

>> 電話機を使用していないときに、 または  を押します。

呼出音のタイプの更新


(社内の設定によってはこの機能が使用できない場合があります。)

着信を知らせる呼出音を変更するには、次の操作を行います：

1.  > [設定] > [基本設定] > [呼出音のタイプ] をタッチします。

2. 複数回線を使用している電話の場合は、呼び出し音を更新する回線のラインキーをタッチします。
3. 目的の呼出音のタイプをタッチし、[選択] ソフトキーをタッチします。

連絡先別に呼出音を設定するには、次の操作を行います：


1.  > [機能] > [連絡先リスト] をタッチします。
2. 連絡先を検索します (「[連絡先リストの更新](#)」を参照)。
3. [編集] ソフトキーをタッチした後、[呼出音のタイプ] をスクロールします。
4. 目的の呼出音のタイプに該当する番号を入力します。
(呼出音に関連付けられた番号を探す操作については、着信通話の呼出音の変更手順を参照してください。)
5. [保存] ソフトキーをタッチします。


スクリーンセーバーの設定

(この機能が有効でない電話機もあります。)
電話機が一定の時間待機状態にある場合に、独自の写真を使用したスクリーンセーバーが表示されるように設定できます。画面をタッチすることによって、いつでもスクリーンセーバーを停止し、待機画面に戻すことができます。


スクリーンセーバーを設定するには、次の操作を行います：

1. 使用する写真を USB フラッシュドライブのルートディレクトリまたはフォルダ内に配置します。
(写真用にサポートされているファイルの種類や最大ファイルサイズの詳細については、http://www.polycom.com/support/voice/business_media_phones/vvx1500c.htmlにある『User Guide for the Polycom VVX 1500 C Business Media Phone for Cisco Unified Communications Manager (SIP)』を参照してください。)
2. USB フラッシュドライブを電話機の右側にある USB ポートに接続します。USB ポートには下方向に開けるふたがついて

います。USB アイコン  が画面に表示されます。

3.  > [設定] > [基本設定] > [環境設定] > [ピクチャフレーム] をタッチします。
4. [ピクチャフレーム] 画面で次の操作を行います。
 - [フォルダ] フィールドに、写真を配置した USB フラッシュドライブ上のフォルダ名を入力します。
(ルートディレクトリに写真を配置した場合は、フィールド名は空白のままにします。)
 - [1 画像あたりの時間] フィールドに、各写真が表示される秒数を入力します。3 ~ 300 の間の数値で入力してください。デフォルト設定は 5 秒です。
5. [保存] ソフトキー、[スクリーンセーバー] の順にタッチします。
6. [スクリーンセーバー] 画面で次の操作を行います。
 - [スクリーンセーバー] フィールドで [有効] を選択します。
 - [待機時間] フィールドに、スクリーンセーバーを表示するまで電話が待機状態にある分数を入力します。1 ~ 9999 の間の数値を入力してください。デフォルト設定は 15 分です。
7. [保存] ソフトキーをタッチします。


スクリーンセーバーを無効にするには、次の操作を行います：

1.  > [設定] > [基本設定] > [環境設定] > [スクリーンセーバー] をタッチします。
2. [スクリーンセーバー] 画面の [スクリーンセーバー] フィールドで [無効] を選択します。
3. [保存] ソフトキーをタッチします。





背景画像の更新

(この機能が有効でない電話機もあります。)
電話機の背景画像を変更できます。システム管理者が電話機に追加した画像または USB フラッシュドライブ上の画像を選択できます。

背景画像を更新するには、次の操作を行います：

1.  > [設定] > [基本設定] > [環境設定] > [背景] をタッチします。
2. [背景] 画面で目的の背景画像を選択した後、[選択] ソフトキーをタッチします。

独自の画像を背景画像として設定するには、次の操作を行います：

1. 画像が USB フラッシュドライブにあること、フラッシュドライブが電話機に接続されていること、および画像があるフォルダを指定したことを確認します。詳細については、「[スクリーンセーバーの設定](#)」を参照してください。
2.  > [ピクチャフレーム] をタッチします。
3.  または  を数回タッチして、背景画像として設定する画像を表示した後、 をタッチします。

新しい背景画像が表示されます。この画像は [背景] 画面に "ローカルファイル" として表示されます。

